

茨城県行方市立 麻生東小学校で環境教育プログラム 「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」を開催

～当社再エネ発電所のある地域で”環境に優しい取り組み”について学ぶ～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、2025年9月11日に茨城県行方市麻生東小学校にて、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」の授業を開催しました。本プログラムは、2025年7月10日に実施した北海道松前町立松城小学校と茨城県行方市立麻生東小学校をオンラインで結んだ授業の続編として、子どもたちの再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）に関する理解をさらに深め、環境に優しい取り組みについて考えることを目的に実施したものです。

当日は、麻生東小学校の6年生29名に参加いただきました。授業では『東急不動産と共に「環境」を学ぼう！』をテーマに、東急不動産の紹介に加え、行方市や茨城県の環境への取り組み、再エネの仕組み、そして環境に配慮した当社の事例について説明しました。また授業の後半には、子どもたちを2グループに分けて、再エネや環境保全に関する質問に答える時間を設けました。

参加した子どもたちからは、「行方市で太陽光パネルが設置されている場所は、どんないところが多いのですか」「日本の太陽光パネルのリサイクル率はどのくらいですか」「環境のために太陽光パネルを設置した方がよいのか、それとも自然のままの方が環境によいのか、どちらが環境に良いのですか」など、再エネの実態や導入の意義について活発な質問が寄せられました。

当社は、こうした子どもたちの好奇心や探求心を大切に、持続的な社会の実現を目指して、より多くの方々が環境問題に関心を持つきっかけとなるよう、こReENE ÉCOLEの活動を今後も積極的に推進してまいります。



▲環境授業の様子

■ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）とは



**ReENE
ÉCOLE**
リエネ エコール

「ReENE ÉCOLE」とは、東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」のブランド名と、フランス語で学校・学び舎“を指す「ÉCOLE」を組み合わせ、発電所のある地域をはじめ全国の子供たちに、再生可能エネルギーを中心とした環境問題を楽しんで学んでいただくことを目的とした環境教育プログラムです。

〈実施事例〉

2024年12月、全国各地の子供たちがつながり、地球の今と未来を考えるオンライン型環境教育イベント「ReENE サミット（リエネサミット）」を開催しました。

本イベントは、子供向けの教育活動に多数の実績を誇る株式会社探究学舎とコラボし、自分たちの住むまちや地球の「いま」と「みらい」を考えてもらうことを目的として実施し、186名の方に参加申し込みをいただきました。



イベントの様子

■イベント概要

▽イベント名：ReENE ÉCOLE

▽日時：2025年9月11日（木） 13:15～14:00

▽対象：小学6年生

▽内容：東急不動産と共に「環境」を学ぼう！

▽場所：麻生東小学校 教室

▽主催：東急不動産



東急不動産